

2022年11月11日

クラウド化を志向した次世代基幹系システムの構築について

株式会社広島銀行（代表取締役頭取 清宗 一男）は、基幹業務を担う勘定系・情報系システム（以下、基幹系システム）について、お客さまのあらゆるニーズに機動的かつスピーディに対応するため、先進的な次世代基幹系システムの構築を目指し、検討を進めております。

次世代基幹系については、2030年度にMEJAR（詳細は次頁）へ参加し、“クラウド”をプラットフォームとした先進的なシステムの構築を目指します。

MEJARへ参加する2030年度までの間は、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（代表取締役社長 五島 久）との間で実施している現行基幹系の共同運営（Flight21）を堅持するとともに、現行基幹系へのモダナイゼーション^{（注1）}を通じて、システムの信頼性・生産性・効率性の向上を目指します。

記

1. 次世代基幹系システムへの対応（2030年度 クラウド化に向けて）
 - － MEJARへの参加、および詳細検討に関する基本合意について －
2. 次世代基幹系システム移行までの対応（2022年度～2030年度）
 - － 現行基幹系（Flight21）の継続、およびモダナイゼーションの実施について －



（注1）モダナイゼーション：これまでの資産を活かしながら新しい技術的要素を取り込み、現代的なシステムへ置き換えること

1. 次世代基幹系システムへの対応（2030年度 クラウド化に向けて）

－ MEJAR への参加、および詳細検討に関する基本合意について －

広島銀行は、2030年度を目途とし、次世代基幹系システムとして、メインフレームからクラウドへの移行を目指します。

クラウド化の実現にあたり、株式会社横浜銀行（代表取締役頭取 片岡 達也）、株式会社北陸銀行（代表取締役頭取 中澤 宏）、株式会社北海道銀行（代表取締役頭取 兼間 祐二）、株式会社七十七銀行（代表取締役頭取 小林 英文）、株式会社東日本銀行（代表取締役頭取 大石 慶之）、および株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（代表取締役社長 本間 洋）との間で2010年1月から稼働を開始している共同利用システム（MEJAR^(注2)）に参加し、6行によるシステム共同利用に向けた詳細検討をおこなうことで基本合意しました。

今後、「MEJAR」スキーム（エヌ・ティ・ティ・データの標準バンキング・アプリケーション「BeSTA」を利用した、参加行による共同化スキーム）において検討されている、2030年度のクラウド適用を見据えた共同利用システム構想に参画いたします。

「MEJAR」スキームに参画することで、金融サービスを機動的に提供しつつIT投資を低減できる“クラウド”をプラットフォームとした次世代基幹系システムの実現と、DX戦略の推進によるコアビジネスの成長を同時に実現してまいります。

① システム共同利用を検討する範囲

預金・為替・融資等の業務処理機能を担う銀行基幹系システムであるMEJARのほか、データの蓄積・分析を担うシステム、インターネットバンキング、営業融資業務の支援システムなど、現状5行で共同利用しているシステムについて、6行での共同利用を検討していきます。

② MEJARの共同利用の時期

2030年度の共同利用を前提に検討をおこないます。

③ その他連携について

MEJAR以外のシステムについて、2030年度の開始に合わせ、段階的に共通化してまいります。

システム以外の分野についても、相互機能の発揮できる領域から、適宜、連携の開始を目指します。

④ 「アライアンス推進室」の新設について

本件基本合意の締結を契機とし、MEJAR参加行との連携強化に向けて、総合企画部内に「アライアンス推進室」を新設いたします。

「アライアンス推進室」では、MEJAR参加行が保有する機能の相互活用に向けたノウハウ共有の仕組み作りを行い、ソリューション強化を目指してまいります。また、2030年度の共同利用に向けたプロジェクトの全体統括を担うことで、円滑な移行を進めてまいります。

(注2) Most Efficient Joint Advanced Regional banking-system(最も効率的な先進的的地方銀行共同システム)の略。

2. 次世代基幹系システム移行までの対応（2022年度～2030年度）

－ 現行基幹系（Flight21）の継続、およびモダナイゼーションの実施について －

現在、広島銀行と株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（以下、FFG）、日本IBM株式会社（代表取締役社長 山口 明夫）およびキンドリルジャパン株式会社（代表取締役社長 上坂 貴志）との間で実施している基幹系システムの共同運営（Flight21）を2030年度まで延長の上、2022年度～2026年度の期間で、基幹系システムのモダナイゼーションを実施します。モダナイゼーションでは、FFGと共同で、①勘定系・情報系システムの構造刷新やオープン化による効率化、②チャンネル統合基盤の新設とAPI拡充による高度化を実現してまいります。

FFGと広島銀行は、2003年の現行基幹系システム稼働（システム共同化）から現在に至るまで、システム面はもちろんビジネス面においても重要なパートナー行として連携してまいりました。広島銀行の次世代基幹系への対応により、2030年度以降のシステム運営は個々に行うこととなりますが、ビジネス面については、2030年度以降もこれまでの協力関係を継続してまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先 株式会社広島銀行 総合企画部 TEL (082) 247-5151 (代表)
--

【参考1】MEJAR 参加行



【参考2】MEJAR の変遷・共同化状況



※1 サイバーセキュリティに関して、定期的な情報交換・感勢確認・共同訓練などを実施
 ※2 デジタル技術を活用した業務プロセス改革、チャネル・サービス改革などの各施策を協働で推進